

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 平成27年度第1回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」平成27年度第1回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第9回企画・運営委員会）を平成27年7月6日（月）に開催しました。

会議終了後、株式会社東芝府中事業所 水素エネルギー研究開発センターを視察しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良一（帝京大学経済学部教授 大学院経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授 スマートキャンパス部門長）

※坂内副委員長はご欠席

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）

※生駒委員はご欠席

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・ソリューション社事業開発センター地域エネルギー担当参事）

藤田 真人（富士通株式会社 三重支店長）

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室長 主任技師）

※樋田委員はご欠席

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 営業本部営業推進部 大阪法人第一営業推進室 担当部長）

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子OPV 事業推進室建築デバイス付 国立研究開発法人理化学研

究所産業連携本部連携推進部
実用化コーディネーター）

※半田委員はご欠席（代理：情報電子 OPV 事業推進室 営業部次長 大平落様）

濱田 康資（株式会社百五銀行 取締役営業渉外部長）

※濱田委員はご欠席（代理：営業渉外部コンサルティング課長 滝川様）

＜推進会議の進行概要＞

会議の進行概要は、以下のとおりです。

開会 13:00

議題

(1)スマートライフ推進協創プロジェクトの平成26年度の活動状況と平成27年度の取組方向

スマートライフ推進協創プロジェクトへの委員からの意見及び対応状況

(2)新エネルギーに関する三重県の計画策定について

閉会 14:30



（事務局からの説明）

事務局より、スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成26年度の活動状況や平成27年度の取組方向、委員意見への対応状況を説明しました。

また、新エネルギーに関する三重県の計画策定と三重県新エネルギービジョンの中間評価の素案について、説明を行いました。

(プロジェクト推進についての意見交換)

続いて、並河委員長の進行によりプロジェクトの推進に関する意見交換を行いました。

※委員からの主な意見

- メガソーラー事業を実施する適地が少なくなっている。今後は、メガソーラーなどの大型発電設備ではなく、太陽光発電とエネファームなどによる各家庭ごとの発電設備の設置を支援すべきではないか。
- 太陽光発電事業の工法の一つとして、水上に浮かぶ樹脂製のフロート上にパネルを設置する方法がある。適地が少なくなっている解決策の一つとして、貯水池を有効活用できる。
- 小水力発電事業は有望な分野ではあるが、水利権者との利害関係の調整の問題がある。
- バイオマス事業に関しては、安定的に原料を調達することが課題である。また、採算性の観点から、発電だけではなく熱を効率的に利用することが重要である。
- 再生可能エネルギー等導入推進基金事業（グリーンニューディール基金）は28年度で終了する。事業効果を高めるため、地域のハザードマップや避難経路等も考慮して、地域の防災施設への発電設備導入を進めるべきではないか。
- 地域社会と連携して、エネルギーの地産地消を推進することが重要ではないか。
- 三重県新エネルギービジョンの改定にあたっては、人材育成の視点も盛り込むべきではないか。



次回の開催予定

次回の推進会議（企画・運営委員会）については、平成27年9月頃に行う予定です。